

第12回 環境研究シンポジウム

気候変動と科学技術

考えよう地球の未来!



参加費
無料

日時 平成26年11月18日(火) 12:00~17:45

会場 一橋大学 一橋講堂 (学術総合センター内)

〒101-8439 東京都千代田区一ツ橋2丁目1番2号

参加登録 <https://www.omc.co.jp/kankyokenkyu/> 事前申込制(先着順)

お問合せ

環境研究機関連絡会 事務局

独立行政法人物質・材料研究機構 企画部門戦略室

〒305-0047 つくば市千現1-2-1 TEL:029-859-2020 FAX:029-859-2025

独立行政法人防災科学技術研究所 アウトリーチ・国際研究推進センター アウトリーチグループ

〒305-0006 つくば市天王台3-1 TEL:029-863-7768 FAX:029-851-1622



【アクセス】
東京メトロ半蔵門線/都営地下鉄三田線・新宿線「神保町」A9出口から徒歩3分
東京メトロ東西線「竹橋」1b出口から徒歩4分

講演 <13:00~16:55>

- | | |
|--|--|
| <p>1 海面が冷えると貯まる海の熱
独立行政法人産業技術総合研究所 環境管理技術研究部門 大気環境評価研究グループ 上級主任研究員 田口 彰一</p> | <p>8 治水システム理解の深化と気候変動適応
国土交通省国土技術政策総合研究所 気候変動適応研究本部(河川研究部 水防災システム研究官) 深見 和彦</p> |
| <p>2 気候変動の影響と適応策
独立行政法人国立環境研究所 社会環境システム研究センター 環境都市システム研究室長 脇岡 靖明</p> | <p>9 気候変動による森林植生への影響評価と森林適応策
独立行政法人森林総合研究所 植物生態研究領域 チーム長(気候変動影響担当) 松井 哲哉</p> |
| <p>3 巨大火山噴火が気候・生態系へ及ぼす影響 -地球システムモデルによる予測-
国土交通省気象庁気象研究所 気候研究部 第一研究室 主任研究官 小畑 淳</p> | <p>10 気候変動と21世紀の農業・食料生産技術
独立行政法人農業環境技術研究所 研究コーディネーター 八木 一行</p> |
| <p>4 北極海の海氷融解は海洋生態系にどう影響するか?
国立大学法人筑波大学 生命環境系長 教授 白岩 善博</p> | <p>11 気候変動に対する漁業資源の応答と水産業の適応
独立行政法人水産総合研究センター 日本海区水産研究所 資源管理部 資源管理グループ長 木所 英昭</p> |
| <p>5 全国港湾海洋波浪観測長期データに基づく日本沿岸の季節別波浪特性の経年変化
独立行政法人港湾空港技術研究所 海洋情報・津波研究領域 海象情報研究チームリーダー 川口 浩二</p> | <p>12 近年の竜巻災害に基づく建築物の被害発生メカニズムの解明
独立行政法人建築研究所 構造研究グループ 主任研究員 喜々津 仁徳</p> |
| <p>6 気候変動適応に向けた水害ハザード・リスク評価
独立行政法人防災科学技術研究所 災害リスク研究ユニット 主任研究員 大楽 浩司</p> | <p>13 低炭素化社会を実現する耐熱・耐環境材料の開発
独立行政法人物質・材料研究機構 環境・エネルギー材料部門 先進高温材料ユニット長 黒田 聖治</p> |
| <p>7 アジアの水災害リスクの評価
独立行政法人土木研究所 水災害・リスクマネジメント国際センター 水災害研究グループ 上席研究員 徳永 良雄</p> | <p>14 地球温暖化の緩和策と低炭素社会
独立行政法人国立環境研究所 社会環境システム研究センター フェロー 甲斐沼 美紀子</p> |

ポスター発表(約100題) <12:00~12:45 / 17:00~17:45>

主催: 環境研究機関連絡会

独立行政法人防災科学技術研究所 独立行政法人物質・材料研究機構 独立行政法人農業環境技術研究所 独立行政法人森林総合研究所 独立行政法人水産総合研究センター
独立行政法人産業技術総合研究所 国土交通省気象庁気象研究所 国土交通省国土技術政策総合研究所 独立行政法人建築研究所 独立行政法人港湾空港技術研究所
独立行政法人土木研究所 独立行政法人国立環境研究所 国立大学法人筑波大学